

## 西洋トマトフェスタ情報

### 「'08西洋トマト料理試食会」が開催される

会員 富山 文好

本年は、昨年（3回目）までのトマトフェスタ鳥取（主催 JA鳥取中央 協賛 鳥取農政懇話会 創造農学研究会 後援 新日本海新聞社）とは趣きを替え、JA鳥取中央西洋トマト研究行動班が主催者となり、西洋トマトの料理試食会をメインに、平成20年9月5日午前11時30分から東伯プラッツ中央内にある「ちっちゃなレストラン」で開催された。

生産者、消費者、レストラン、行政、JA関係者ら約60名という多くの参加があり、新鮮市場プラッツ中央店店長 後藤秋美氏の巧みな司会で進められ盛大な催しとなった。その概要について報告する。



## 1、開会挨拶 J A鳥取中央 坂根國之 組合長



この西洋トマトの取り組みは、J Aとうはく西洋トマト栽培研究会、鳥取農政懇話会の皆様で本県における多様な食材の提供を目的に、20種以上の西洋トマトの試作等研究がなされてきたが、昨年よりJ Aとうはくとの合併を契機にJ A鳥取中央がその事業を引継ぎました。J A鳥取中央としては2年目になりますが、通算4回目の開催になります。これまでの取り組みの努力に対し敬意を表します。

本日は、品種を絞り込んだ西洋トマトを素材に、日本人の食味に合うよう「ちっちゃなレストラン」代表高力郁子さんに研究いただき試食会が開催されたことに感謝申し上げます。

東京新橋のアンテナショップのレストランで、鳥取県産の食材料理が好評で、嬉しく思っております。この西洋トマト料理も提供できればと期待しています。この西洋トマトが産地形成でき、この当地で食文化が花開くよう期待します。

## 2、来賓挨拶

中部総合事務所農林局 局長 安田知章氏

お招きいただきありがとうございます。



このような多様な西洋トマトが中部地区で栽培されていることは、知りませんでした。展示してある、まだら模様の「グリーンゼブラ」、これがトマトとは驚きました。4年目を迎えられるこの試みをとおして、新しい食文化が根付くよう願いますし、

県としても支援していきたい。

鳥取農政懇話会幹事 元鳥取県園芸試験場長 上田 弘美氏

本日は西洋トマト料理試食会が開催され、本当におめでとうございます。

北浦会長が所要で欠席のため、幹事の上田が代理であいさつさせていただきます。



鳥取県に西洋トマトが紹介されたのは、平成16年12月でした。東京の創造農学研究会の山代勁二代表より、鳥取農政懇話会の北浦勉会長あてに西洋

トマトの栽培について照会があり、27品種の種子を無償でいただきました。そこで平成17年にトマト栽培が盛んな日南町や琴浦町などの21戸の農家で試験栽培を実施いたしました。鳥取農政懇話会では「鳥取西洋トマト栽培研究会（定常君雄会長）」を組織し、事務局をJAとうはく内に設置しました。第1回のトマトフェスタはJAとうはくのスイングパレスで実施し、「板前亭ちくま」の知久馬惣一社長による7種類の芸術的な和風料理を賞味いたしました。

平成18年には、兵庫県の文化農場の小野康裕社長のご指導により、21品種に厳選し県内26戸の農家で栽培いたしました。また、とっとり花回廊でも21品種の鉢栽培による展示を実施しました。第2回のトマトフェスタは倉吉市の「伯耆しあわせの郷」でとっとりけん消費者の会（福井靖子会長）のお世話になり、家庭的な13種類のメニューが好評でした。

北栄町の中原一男さんは中玉を中心として11品種の西洋トマト栽培に積極的に取り組み、現代農業誌の取材を受けました。中玉では赤色のスイートクラスタ、黄金色のゴールデンガール、黄色のレモンボーイ、緑と黄のまだらのグリーンゼブラなどが特に有望でした。

平成19年2月、JAとうはくがJA鳥取中央に合併することとなり、鳥取西洋トマト栽培研究会はJA鳥取中央西洋トマト研究行動班（栗原隆政会長）へと引き継がれました。平成19年のトマトフェスタはTTCで研究会があり、プラッツ中央で「ちっちゃなレストラン（高力郁子代表）」などのお世話で独創的なトマト料理をいただきました。

平成20年で西洋トマト導入後4年目となりましたが、西洋トマトが県中部地域の特産物に育っていくことを祈念しております。

### 3、状況報告

J A鳥取中央 琴浦営農センター センター長 戸田 勲氏

資料により状況報告があった。



### 4、料理メニュー説明



「ちっちゃなレストラン」の当日スタッフ 右端が高力郁子代表



試食会のメニュー

## 5、会食・歓談







## 6、閉会挨拶

J A鳥取中央西洋トマト研究行動班会長 栗原 隆政氏

(J A鳥取中央代表理事常務)



この西洋トマトが産地形成  
でき、この当地で食文化が花  
開くよう生産者の皆様と共に  
J A鳥取中央としても支援協  
力をし、成果が上がるよう努  
めていきたいと考えますので

よろしくお願ひします。

本日は高力郁子代表に大変お世話になりました。感謝申し上げます。



懇話会参加会員（会場前にて）

左端は有山 J A 鳥取中央常務

（鳥取県農業信用基金協会参事）

## 西洋トマトフェスタ情報

### トマトフェスタ2008in 東京に参加して

会員 定常 君雄

“見て・触って・食べて”をテーマにした「トマトフェスタ2008in 東京」が、平成20年8月2日午前10時から午後4時30分迄東京都大田区 鵜の木にある学校法人上野塾 東京高等学校2F 食堂で開催されました。

アクセスは羽田空港から京浜急行線で20分「京急蒲田」で下車し東急多摩川線乗り換えて7分「鵜の木駅」で下車し歩いて5分で東京高等学校です。

08 8月2日(土)東京高等学校(鵜の木)で

見て、触って、食べて

トマトフェスタ  
2008



世界の伝統トマトを数十種

# 展示・即売・食べ比べ



日時 8月2日(土)10:00～16:30

入場 100円

場所 東京高等学校 (東急多摩川線鵜の木駅下車 徒歩5分)

主催 昔ながらのトマトの勉強会(大田区社会教育団体)

共催 創造農学研究会

手伝ってください(ボランティア、実行委員を大募集して

います。お気軽に連絡ください。山代勤二 03-3721-8046)

<トマトの絵は村上多恵子(イラストレーター)さん>



今年の“トマトフェスタ東京”には昨年から“西洋トマト”を鳥取農政懇話会から引き継ぎ、栽培に携わってきたJA鳥取中央からの参加者が無かったことを大変残念に思いながら、私一人の寂しい参加となりましたがその概要を報告します。

鵜の木駅前のなつかしさを感じさせる昔からの商店街を抜けると閑静な住宅街が広がっており、以前は多摩川の豊富な水を利活用して盛んに農業が行われており、現在もこの地を含む大田区南部は田園地帯となっています。その多

摩川のほとりに創立136年、生徒数1,100名の東京高等学校があります。



東京で開催される“トマトフェスタ東京”は今年で4回目を数えますが、今年の特徴は大田区公認の市民団体「昔ながらのトマトの勉強会」の手によって開催・運営されると言うことです。

そしてもう一つは、去年までは“トマトフェスタ”では来場者は試食まででしたが、目当ての珍しいトマトを試食して買いもとめる事が出来るようになりました。

運営にはスタッフ50名のボランティアの方があたりますが主婦・OLの所謂女性の消費者サイドの方々です。

例年“トマトフェスタ東京”は創造農学研究会（山代勁二代表）主催で開催されていたが、今年から前述の通り「昔ながらのトマトの勉強会」が主催し創

造農学研究会は共催としております。

「昔ながらのトマトの勉強会」は大田区南部で3年前に田園調布で始まった珍しいトマト作りが、近隣の愛好者や市民を巻き込み消費者とも一体となり生産者サイド（作り手）、消費者サイド（買い手）が融合するという新しい形態で、平成20年2月に東京都大田区の社会教育団体として発足した団体で今後の展開が非常に注目されています。

もちろんトマトフェスタには鳥取県をはじめ、静岡県、兵庫県、青森県、岩手県等々の各地の農家、農場で生産された珍しいトマトも合流しています。

**フェスタ前日の8月1日**の午後1時～3時までがトマトの会場内搬入指定ということで、私が会場に到着した午後4時30分頃にはJA鳥取中央からの荷物もすでに到着していました。

今年は

- 1, シシリアンルージュ
- 2, 花こまち
- 3, スイートクラスター
- 4, ゴールデンガール
- 5, グリーンゼブラ
- 6, ラローマ

段ボールを開封するとスーパー売り仕様と思われる袋詰めがなされているので、ブースへの陳列は明日にしようという話しになり、5時には会場を退去しなくてはならず全員が引き上げました。

**今年は前夜祭の計画は無く**山代勤二代表、兵庫県の平川さん、和歌山県の木村さんと私の4人で意見交換会をしました。兵庫県の平川さん、和歌山県の木村さんはともに山代さんと以前の職場が同じだった縁での出会いということでしたが、双方とも家は農家で耕作地も所有しているとのことでした。

従って話しはトマトを初めとした農作物の栽培の難しさ、収穫の楽しさ等が中心となりましたが、和歌山の木村さんは耕作面積が多い様子で梅、ミカン等幅広く営んでいるとのことでした。将来は鳥取、兵庫、和歌山の関西圏でトマトフェスタを開催したいと言った話しまで飛び出してきました。

好天に恵まれた“トマトフェスタ”の当日8月2日、8時40分に会場到着し午前10時の開場に備えました。開場は午前10時の予定ですがその前から大勢の来場者がつめかけ、会場はあっという間に満員、各ブースの周辺は大混雑となりました。





来場者は500人を越えており、去年の約2倍に近いトマト好きの人が集まりました。あらためてトマトの魅力を知り驚いた次第です。

来場者はどのブースも回り、試食しながら生産者に珍しいトマトの特徴や食べ方を聞いたり、お目当てのトマトを選んで購入していました。

生産者は来場者との海和を通じて「消費者は、どんなトマトを望んでいるのか」を肌で知ることになります。

ちなみにJA鳥取中央のブースでは、珍しい色、味のしっかりしたグリーンゼブラとゴールドンガールはすぐに完売となりました。

### 山代勁二代表の挨拶要旨はつぎの通り。

本日はお暑い中ようこそトマトフェスタにお出かけくださいました。心より歓迎とお礼を申し上げます。会場入り口を抜けると、おそらく今までに見たこともないトマトが皆様をお待ちしています。

珍しい世界のトマトを国内で生産されたブースでは、数量に限りはありますが様々な珍しいトマトを“見て・触って・食べて”いただけます。

さらに家庭菜園をしたいがノウハウを、どんな品種が良いのかを、相談できる「トマト博士」のいるコーナーもあります。

トマト料理を実際に食べてみたい方のコーナーも500円で用意されています。多摩川を堤防越しに臨める休憩コーナーもあります。どうぞゆっくりとご覧下さい。



各ブースの特徴

### **J A鳥取中央（鳥取県）**

全国に先駆けて“西洋トマト”の栽培に取り組んでいた「鳥取西洋トマト栽培研究会」から引き継いで2年目になった。JA内に「西洋トマト研究行動班」を組織化し本格的に地域特産品となる“西洋トマト”を育成する。

今年はグリーンゼブラ、ゴールデンガール等6種を出品販売した。

### **トマトの鈴木（静岡県）**

ホームページ“西洋トマトのページ”（<http://blog.goo.ne.jp/mytomato2005/>）

で知り合い、今ではすっかりフェスタの常連さんです。もちろん鳥取県のトマトフェスタにも参加しています。

トマトの鈴木今年の一押しは独自開発のオリジナルトマト「黒真珠」です。ミニ系の黒い色のトマトで糖度もしっかりです。

栽培の特徴は天竜川河川敷の草を堆肥化したものと牡蠣がら石灰を使用し、農薬は普通栽培の3分の1程度の使用。定植後、根が活着すればほとんど水を与えないで栽培するため糖度の高いトマトが収穫できる。

オリジナルトマトは他に「星のしずく」「グリーントマトヒスイ」等数種類あり地元のレストラン百貨店などで販売している。

### パイオニアエコサイエンス（東京）

「シシリアンルージュ」の発売元で、世界最大の種苗会社であるパイオニアハイブレッドインターナショナル社の子会社。

2005年から日本で発売を始め、今、全国に取扱店を作り攻勢をかけている。会社の資金力、情報量、戦略等に優れ市場席卷は必至で、近い将来珍しいトマトではなく外国産の「第2の桃太郎」に？

あるJAの営農指導者によると種子メーカーが栽培指導、販売先を準備してからJAが営農指導に入るのが最近の実態らしい。メーカーはそのあたりを突いて自社商品の販売強化を図り、JA自作の地域発特産物作りにはこの考え方の修正が必要と思える。

### アグリネット宝塚（兵庫県）

サラリーマンを退職後去年から宝塚の自宅で栽培を始め近所の愛好家と共に約30種のトマトを栽培している。和歌山県、奈良県の友人にもトマト栽培をすすめネットワーク構築中。

トマトフェスタは初参加だが、種子は山代氏、和田氏から調達しており鳥取県が最初に試験栽培した品種が散見された。

### MEG・NET（東京）

大田区田園調布の消費者ネット。岩手県遠野市の遠野ファクトリーと連携して「トマトの宝石箱」を昨年から発売。

毎回“トマトフェスタ東京”を裏側から支えているグループです。

### (有) 浜名農園（静岡県）

花や野菜の種や苗、培養土の生産販売をしている会社。

トマトフェスタ初参加。今年はこの会社のトマト種、培養土を使って栽培した青森県栽培のトマトを出品販売した。



トマトをまるごと美味しく食べるためにとのテーマでチャップリンおぼ

さんの講習会も開かれました。

サラダ等にして生食するのも美味しいが、トマトのうまみを引き出すには加熱するのが一番美味しく食べられる。チャップリンお婆さんは味噌汁、炒め物、デザートなどにも使っているそうです。トマトの皮は優れた食物繊維、種に至っては食べるべきと仰います。等々ためになる美味しいお話を聞きました。

そして本日の試食をする世界のトマトを使った料理もチャップリンお婆さんたちが研究したレシピです。



メニューは

- ① トマトフェスタ・ライス～[みそケチャそばろ](#)をご飯に混ぜ込み、[トマトのコンサントーレ](#)を添え、青のりを振りかけました。
- ② あ！トマトパンだ～[チャップリンのトマトパン](#)です。
- ③ プチ白玉～プチトマトを白玉に包み、小豆あんと黒蜜をかけました。

④ トマトフェスタ・オーレへ湯剥きしたトマトの乱切り、キビ砂糖少々、レモン汁少々、牛乳をジューサーにかけて飲み物。

フェスタに出品された珍しいトマトをふんだんに使った美味しい料理で、試食タイムは申込殺到で即完売状態でした。チャップリンおばさんは第1回のフェスタから連続参加の方で、もちろん鳥取県の西洋トマト栽培の大ファンでもあります。

---

ここで鳥取農政懇話会の北浦会長からの“トマトフェスタ2008 in 東京”へのメッセージを報告します。

東京トマトフェスタ2008によせて

鳥 取 農 政 懇 話 会  
会 長 北 浦 勉

今年の東京でのトマトフェスタは消費者の気持ちを大切にされて「見て、触って、食べて」というテーマで創造農学研究会と公認の市民団体である「昔ながらのトマトの勉強会」の協力で共催として大々的に開催されますことは、名実ともに「とくサロン」であり、消費者と歩む創造農学研究会の地位を築かれたことでありまして、心からお喜び申し上げる次第であります。

このイベントに、西洋トマト普及の先陣を勤めさせて頂きました鳥取地域としては、JA鳥取中央の「西洋トマト行動班」の中原一男を中心に栽培された、

- 1, シシリアンルージュ
- 2, 花こまち
- 3, スイートクラスター
- 4, ゴールデンガール
- 5, グリーンゼブラ

## 6. ラローマ

の6品種を「見て、触って、食べて」味わっていただきたいと出品しております。

とかく地方となりますと、新しい品目については、JA 自体が銘柄と大量生産、大量出荷という先入観が全面に出て、やりにくい面があるのですが、JA 鳥取中央に西洋トマト行動班を組織して西洋トマトの展開を図っております。

新品種の紹介となるトマトフェスタにつきまして、平成17年、18年、19年と開催し、今年も9月上旬には4回目を計画しております。地球環境問題が大きく取り上げられるようになり、農業を守り、農村を守るという気運が出ております。

我が国の新時代の食生活を構築する上でも、トマトも重要な役割をもっていると考えますので、トマトフェスタの行事を継承してほしいと願っております。

まず、東京でのトマトフェスタの盛会を記念し、メッセージとさせていただきます。

平成20年8月2日

日本各地から栽培された珍しい世界のトマト見て・触れ合ったよろこび、たくさんさんの珍しいトマトの中から自分好みのトマトを試食して楽しそうに選ぶ来場者の熱気に触れ合いトマトの魅力を再発見しました。

最後に、JA鳥取中央「鳥取西洋トマト栽培研究会」がメーカーには無い自作の「西洋トマト」をいち早く地域特産品として完成されることをお祈りしてトマトフェスタ東京の報告とします。

(鳥取中央農協理事、元東伯町農協総務部次長)